

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472900776	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成23年12月1日	
法人名	株式会社 ツクイ			
事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム			
所在地	(243-0203)			
	神奈川県厚木市下荻野1110-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成25年10月1日	評価結果 市町村受理日	平成27年1月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/IDetails.aspx?IGNO=ST1472900776&SVCD=320&THN0=14212
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様一人ひとりを尊重し、家庭的な雰囲気の中で安心、安全に生活して頂ける様に、「理念」の共有と各種委員会の設置を行い。職員も積極的に活動しています。また、職員の働き易さにも配慮し、年一回の面談の他、目標設定も行い。業務として、内外の研修参加も行っています。更に、管理者だけでなく、居室担当者や当日の勤務者が来所されたご家族からの聞き取りや日常の様子の伝達などにも心がけています。職員の平均年齢は高めですが若い職員の採用や経験ある職員の採用も行い。良い所を吸収する様に努めています。食事作りも季節感のある食事やご利用者様の嗜好に合わせた物なども工夫しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年10月29日	評価機関 評価決定日	平成26年12月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は小田急線本厚木駅からバスで約20分、バス停、荻野新宿から徒歩0分の所にあります。事業所は大山街道に面し交通量は多いですが、一步裏道に行くと古い住宅と新しい住宅が混在する閑静な住宅地にあります。

<優れている点>

3項目からなる事業所の理念の一つとして「地域との関わりを大切にします。」を掲げています。自治会に入会し自治会の行事への参加、近隣の小学校、保育園とは運動会などの行事を見学し、また、小学校からは事業所への訪問があります。地域住民による踊りや南京玉すだれなどのボランティアもあります。運営推進会議には自治会長、民生委員も出席し、自治会長から災害時における避難場所の変更の提案などもあります。このように地域と事業所は緊密関係にあります。家族からの要望や意見は家族の来訪時や運営推進会議で聞くようにしていますが、それに加え、年1回、「不安に思うこと」「施設への要望」などの家族アンケートを行っています。回収率はほぼ100%でアンケート内容を職員会議で検討し事業所の運営に反映させています。

<工夫点>

食事に関しては利用者が食事を楽めるように、一部の利用者は盛り付けや配膳、調理などを手伝っています。朝食、夕食の献立は利用者の希望を踏まえ食材会社が作成してありますが、昼食は1階、2階の各フロアが利用者と職員が作成しています。食材は職員と利用者が買出しに行き、調理も協力して行っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の「理念」の唱和と会議での話し合いに努めています。	3年前に全職員で現在の事業所の3か条からなる基本理念を作成しています。理念は玄関、事務室、リビングに掲示し、また、内部研修で取り上げ、毎日社訓とともに唱和して周知を図っています。職員は理念に基づきその人の個性を尊重し、地域との関わりを大切にしたい支援を行っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議での話し合いや地域の行事への参加など、積極的に行っています。昨年は保育園の運動会、公民館行事、自治会行事へ参加)	自治会に入会し町の文化祭、清掃行事、三田小学校、三田保育園の運動会への参加、三田小学校の来訪などがあります。グループホームの行事への地域住民の参加もあり、日常的に交流を深めています。踊りなどのボランティアも受け入れています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	特別な行事や企画は行っていませんが、運営推進会議での意見や施設の状況など細かく説明しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご利用者様の入退去情報や行事、研修の報告。委員会の活動の報告を欠かさず行っています。また、会議で出た意見や提案をサービス向上に活かしています。	運営推進会議は2ヶ月に1回、自治会長、民生委員、荻野地域包括支援センターの職員、家族、利用者などの参加し、地域の人に事業所の実情を直接知ってもらう機会にもなっています。自治会長から近隣への避難場所の変更について厚木市への提案がありました。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	困りごとや相談などは、随時行っています。(介護保険の動向や申請についてなど)毎年「まるごと介護相談会」に参加し、事業の説明やアピールを行っています。	市主催の介護職員確保のための「まるごと介護相談会」に参加し、グループホームのアピールを行うとともに実情を伝えていきます。また、市が行っている介護職員キャリアアップ支援事業や、市主催の「認知症ケアの最新の考え方と技術」などの研修会に職員が参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会は1,2ヶ月に一回は行い。毎月の会議やカンファレンスでも報告や検討を行っています。現状の見直しと今後の方向性なども積極的に話し合っています。	『身体拘束の廃止に関する理念及び方針』を文書で事務室に掲示し、また、身体拘束廃止委員会を作り、毎月勉強会を行い周知を図っています。緊急やむを得ず身体拘束を行なう場合の手順は、契約時に説明し家族などの同意を得ています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体会議での研修や外部研修を行い。更に職員同士の気づきを大切にし、言葉使い等に関しては管理者との面談や身体拘束委員会でも話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	積極的な関わりはありませんが、ご家族が疎遠な方の相談などは市町村担当者で行っています。内部研修などの機会は毎年作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前と契約時の説明に加え、不安や疑問はいつでも問い合わせして頂ける様な体制を取っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎年のご家族アンケートに加え、ご利用者様の要望の聞き取りを行っています。介護相談員の受け入れも行い。2年目となります。	居室担当制を敷き担当の職員が利用者との日常会話の中や、家族とは来訪時や参加している運営推進会議で意見を聴くようにしています。また、毎年家族アンケートを実施し施設への要望などを聞いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の会議での職員の意見や面談での聞き取りなど積極的に行っています。	管理者は毎月の職員会議、毎日のミーティング、個人日常記録、職員との個人面談などで意見を引き出すようにしています。行事の企画、立案は主として職員が行っています。職員から勤務時間帯の変更などの提案もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内だけの事に限らず、社会全体として介護職の待遇の改善を望みたい。会社としては、介護業界の中で待遇のNo.1を目指してはいるが世間一般の水準には程遠いと感じます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内外の研修は積極的に行っています。また、個々のレベルに合わせた目標設定なども行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	内部ではありますが、研修参加で他のGHとの交流を積極的に行い。デイサービスとの交流も行いました。（レクの勉強会）		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	基本情報の聞き取りや入居間もない頃のご本人様との会話の中で信頼関係を築く様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族とも積極的にお話し、要望などの聞き取りも行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族からの聞き取りやご本人の要望を聞き、出来る限りの対応をしています。「なるべく外に連れ出して欲しい」「買い物の同行をして欲しい」など		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来る事はして頂くのをモットーに負担に成らない範囲での参加をお願いします。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の訪問が頻繁にある方は連れ出しなどもお願いし、ご本人のリフレッシュやご家族とのふれあいを楽しんで頂く様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	初めて入居の方のお友達などが来所された時は「いつでも起こし下さい」「また、ぜひ起こし下さい」と声かけを行っています。ご家族へも報告し声掛けを行って頂く様に努めています。ただ、年数が経つに連れ認知症の進行が進み、足が遠のいてしまう傾向がある	入居前の面接の段階で基本情報や生活歴、利用者、家族との話し合いなどで馴染みの人や場所を把握しています。行事計画時には希望を聞き、思い出の場所に行けるようにしています。また、馴染みの人への手紙の手伝いなどの支援も行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲間作りやレクへの声掛けで支援しています。どうしても、孤立がちな方へは職員の声掛けでフォローする様に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際もいつでもご相談下さい。とお伝えしていますが、殆どの方はそこで断ち切れてしまいます。以前は何回か遊びに来て下さった方も居ました。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスでの話し合いに加え、居室担当の聞き取りや日々のケアの中での話しなど希望や意向を聞き取りケアに生かす様に努めています。	居室担当職員が中心となって日々の生活の中で利用者との会話などで思いや意向を把握し、そのことを職員会議などで共有しています。また、意思疎通が困難な利用者には、家族からの情報や日々の行動や仕草から思いや意向を把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や生活のパターンを大切にする様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の変化や状態把握に努めカンファレンスでの話し合いに生かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスでの話し合いと日々の記録に生かす様に努めています。計画の変更時にはご本人とご家族への聞き取りも行っています。	居室担当職員が利用者や家族の意向を踏まえ、3ヶ月毎にカンファレンスをしており、ケアマネジャーも3ヶ月ごとにモニタリングを行っています。毎月のケース会議で介護計画を作成しています。有効期間は原則1年ですが、状況に応じ適宜見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録やご利用者の言葉など記録にとどめ、また、今後の提案などを出し合い計画書の作成の補助としています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族では対応出来ない。通院やお出掛けなどニーズに応じた対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事の参加や住み慣れた馴染みの関係を大切にしながら、介護を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	往診医も4箇所お願いし、ご本人とご家族の希望に添える様な体制にしています。また、以前からの掛かりつけ医も大切にして、通院対応としている方もいます。	定期的に医師の往診、訪問看護が実施されています。本人や家族の希望により以前からのかかりつけ医も大切に、臨機応変に対応しています。入居者の体調をお便りの中で家族に報告しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員は週一回の訪問以外も随時相談出来る体制を取っており。ご利用者様のきめ細かな体調管理や相談事にも対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院対応はもとより。退院へ向けての相談も随時行う体制で。退院時出来るだけ通常の生活出来る様な対応を心がけています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取り同意も含め。ご家族とは随時ご相談しながら、進めています。また、毎年、研修も行い。話し合いを通して職員の不安を少なくする方法を考えています。	本人や家族の思いを尊重し、最良な選択ができるよう医師、看護師と連携する体制を整えて取り組んでいます。契約時には指針を示した「医療連携体制に係る同意書」を交わし、重度化した場合には「看取りに係る同意書」を示しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生にかんしての研修、会議なども毎月行い。再発防止に努めると共に。避難訓練時の救急救命研修も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	非常災害の研修と地震訓練を早朝、夜間と行い。常に落ち着いた対応出来る様な体制作りを行っています。	夜間・早朝・地震想定避難訓練を実施しています。備蓄品は賞味・消費期限を見やすく表示し、環境整備委員会が定期的（2ヶ月毎）に確認しています。9月には神奈川県「シェイクアウト（地震防災訓練）」に登録参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を始め会議等でも随時話し合いの機会を作り。言葉掛けに関して職員同士でも注意し合える。体制を作る事を目標としています。	利用者へは節度を持って対応し、管理者は職員同士で注意喚起するように指導しています。居室で一人ゆっくりしたい利用者のプライバシーも職員は大切に考えています。ホームページや「荻野新聞」への写真掲載には「写真承諾書」を得ています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の中で、ご利用者様の希望を聞いたり。（居室担当者）その他の場面でも、御自分で意志決定が出来る様に努めています。ちょっとした時間でお話しが出来る雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様のペースに合わせた、生活リズムを崩さず。時には集団での活動なども取り入れながら、暮して頂ける様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身で判断出来ない方も極力希望をお聞きし。衣服を選ぶ事や。日により整容が上手く出来ない方には声掛け介助しながら支援しています。訪問美容もお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好をお聞きしながら、出来るだけご希望に沿う様な献立作りを行っています。準備、片付けなども出来る範囲で協力して頂ける様に努めています。また、誕生日には好みのメニューをお聞きする様にしています。	利用者の好みを聞き、栄養士が献立をチェックをしています。食を大切に、米、お茶など食材選びに気を遣い、給食業者のメニューも併用しつつ、各フロア職員は丹念な手作りにこだわっています。利用者は野菜の皮むき、準備、食器ふきを手伝っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分、食事量の把握とその方に沿った栄養摂取など、看護師も含め相談しながら支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアや声掛けなどその方の状態に合わせた支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンの把握と状況の変化（布パンツ、失禁パンツ、リハビリパンツ）などに応じた支援を行っています。	「個人日常記録」には排泄についても記録され、職員は排泄パターンを把握して、適切にトイレ誘導しています。ほぼ自立の利用者もいますが、布パンツやパットを組み合わせながら職員は利用者に寄り添って支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の状態や回数、便秘への対応など主治医、看護師とも相談しながら支援しています。水分量、食事量、運動量などの検討もしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は曜日を決めていますが、その日の状況に応じた変更などで、臨機応変な対応をしています。また、1番風呂が好きな方への対応や平等になる様な対応なども工夫しています。	浴室は一般浴槽ですが、シャワーチェアを利用しながら、安全に配慮した入浴支援をしています。希望があれば同性介助にも対応しています。入浴嫌いの方も立ち上がりのタイミングをみたり、翌日の入浴に変更したりと工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	傾眠の強い方やソファで寛ぎたい方などそれぞれの対応を工夫しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	夜勤者がセットし、各勤務者が確認し薬箱とご利用者台帳の両方に処方箋を入れ確認に努めています。また、急な薬の変更や追加にも申し送りや掲示、ノートなどで確認出来る体制を取っています。服薬チェック表も活用しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人の嗜好（お酒、特別な飲み物）などに対応しています。また、出来る範囲での役割（お花の水遣り、お掃除）などお願いし、生き生きと生活出来る様な支援に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族との外出支援や個別の買い物対応など行っています。	近くの神社や住宅街を散歩するコースがあります。散歩を兼ねつつ、自治会の清掃活動では近隣住民と触れ合う機会ともなっています。玄関前にはベンチが置かれており、日光浴や外気浴を楽しんでいます。衣料品の買い物に出かける利用者もいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の所持を行っている方はいますが、残金の確認などトラブルの無い様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	お手紙や電話は好きな時に出来る体制を取っています。昨年は、お中元の手配も行いました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今年はドリンクコーナーの配置、ソファの買い替え。玄関周りの整備も行い。少しずつ快適な空間作りに努めています。また、お部屋の温度や採光にも気を使う様に時間担当を決めています。玄関前の花壇に関してはご利用者様も関わりながら育てています。	居間は明るく開放的で窓からの眺めもよく、利用者はゆっくり過ごしています。昼コーナーは家族との歓談、行事に利用しています。廊下や踊り場には行事写真が掲示され、家族も楽しみに観ています。ドリンクコーナーも利用者に好評です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファの配置や椅子、テーブルの配置を工夫し。ご利用者様が快適に過ごせる様に工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	極力、これまでの生活を崩さない様にお伝えし、出来る限りの荷物を持ち込んで頂く事をお願いしています。また、使い慣れたお茶碗、お箸などもお持ち頂く様にしています。	エアコン、カーテン、クローゼットは備え付けです。入居者は使い慣れた好みのベッド、布団、タンス等を持ち込んでいます。可動式のフックには洋服をかけたたり、手芸作品を飾っています。家族の写真立や位牌を棚に並べている利用者もおおり自分なりの居室としています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	共有空間と個室部分が別の配置ですが、その為。はっきりとした住み分けが出来ていると感じています。また、職員も目の届きやすい配置となっています。長い廊下には手摺の取り付けもあり。歩行不安定な方も居室までの移動が楽になる様な工夫があります。		

事業所名	ツクイ厚木荻野グループホーム
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	毎日の「理念」の唱和と会議での話し合いに努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議での話し合いや地域の行事への参加など、積極的に行っています。昨年は保育園の運動会、公民館行事、自治会行事へ参加)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	特別な行事や企画は行っていませんが、運営推進会議での意見や施設の状況など細かく説明しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご利用者様の入退去情報や行事、研修の報告。委員会の活動の報告を欠かさず行っています。また、会議で出た意見や提案をサービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	困りごとや相談などは、随時行っています。(介護保険の動向や申請についてなど) 毎年「まるごと介護相談会」に参加し、事業の説明やアピールを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会は1,2ヶ月に一回は行い。毎月の会議やカンファレンスでも報告や検討を行っています。現状の見直しと今後の方向性なども積極的に話し合っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体会議での研修や外部研修を行い。更に職員同士の気づきを大切にし、言葉使い等に関しては管理者との面談や身体拘束委員会でも話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	積極的な関わりはありませんが、ご家族が疎遠な方の相談などは市町村担当者で行っています。内部研修などの機会は毎年作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前と契約時の説明に加え、不安や疑問はいつでも問い合わせして頂ける様な体制を取っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎年のご家族アンケートに加え、ご利用者様の要望の聞き取りを行っています。介護相談員の受け入れも行い。2年目となります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の会議での職員の意見や面談での聞き取りなど積極的に行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社内だけの事に限らず、社会全体として介護職の待遇の改善を望みたい。会社としては、介護業界の中で待遇のNo.1を目指してはいるが世間一般の水準には程遠いと感じます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内外の研修は積極的に行っています。また、個々のレベルに合わせた目標設定なども行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	内部ではありますが、研修参加で他のGHとの交流を積極的に行い。デイサービスとの交流も行いました。（レクの勉強会）		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	基本情報の聞き取りや入居間もない頃のご本人様との会話の中で信頼関係を築く様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族とも積極的にお話し、要望などの聞き取りも行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族からの聞き取りやご本人の要望を聞き、出来る限りの対応をしています。「なるべく外に連れ出して欲しい」「買い物の同行をして欲しい」など		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来る事はして頂くのをモットーに負担に成らない範囲での参加をお願いします。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の訪問が頻繁にある方は連れ出しなどもお願いし、ご本人のリフレッシュやご家族とのふれあいを楽しんで頂く様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	初めて入居の方のお友達などが来所された時は「いつでも起こし下さい」「また、ぜひ起こし下さい」と声かけを行っています。ご家族へも報告し声掛けを行って頂く様に努めています。ただ、年数が経つに連れ認知症の進行が進み、足が遠のいてしまう傾向があ		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲間作りやレクへの声掛けで支援しています。どうしても、孤立がちな方へは職員の声掛けでフォローする様に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去の際もいつでもご相談下さい。とお伝えしていますが、殆どの方はそこで断ち切れてしまいます。以前は何回か遊びに来て下さった方も居ました。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスでの話し合いに加え、居室担当の聞き取りや日々のケアの中での話しなど希望や意向を聞き取りケアに生かす様に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や生活のパターンを大切にする様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の変化や状態把握に努めカンファレンスでの話し合いに生かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスでの話し合いと日々の記録に生かす様に努めています。計画の変更時にはご本人とご家族への聞き取りも行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録やご利用者様の言葉など記録にとどめ。また、今後の提案などを出し合い計画書の作成の補助としています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご家族では対応出来ない。通院やお出掛けなどニーズに応じた対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事の参加や住み慣れた馴染みの関係を大切にしながら、介護を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	往診医も4箇所お願いし。ご本人とご家族の希望に添える様な体制にしています。また、以前からの掛かりつけ医も大切にして、通院対応としている方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員は週一回の訪問以外も随時相談出来る体制を取っており。ご利用者様のきめ細かな体調管理や相談事にも対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院対応はもとより。退院へ向けての相談も随時行う体制で。退院時も出来るだけ通常の生活が出来る様な対応を心がけています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取り同意も含め。ご家族とは随時ご相談しながら、進めています。また、毎年、研修も行い。話し合いを通して職員の不安を少なくする方法を考えています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生にかんしての研修、会議なども毎月行い。再発防止に努めると共に。避難訓練時の救急救命研修も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	非常災害の研修と地震訓練を早朝、夜間と行い。常に落ち着いた対応が出来る様な体制作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を始め会議等でも随時話し合いの機会を作り。言葉掛けに関して職員同士でも注意し合える。体制を作る事を目標としています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の中で、ご利用者様の希望を聞いたり。（居室担当者）その他の場面でも、御自分で意志決定が出来る様に努めています。ちょっとした時間でお話しが出来る雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様のペースに合わせた、生活リズムを崩さず。時には集団での活動なども取り入れながら、暮して頂ける様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身で判断出来ない方も極力希望をお聞きし。衣服を選ぶ事や。日により整容が上手く出来ない方には声掛け介助しながら支援しています。訪問美容もお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好をお聞きしながら、出来るだけご希望に沿う様な献立作りを行っています。準備、片付けなども出来る範囲で協力して頂ける様に努めています。また、誕生日には好みのメニューをお聞きする様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分、食事量の把握とその方に沿った栄養摂取など、看護師も含め相談しながら支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアや声掛けなどその方の状態に合わせた支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のパターンの把握と状況の変化（布パンツ、失禁パンツ、リハビリパンツ）などに応じた支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の状態や回数、便秘への対応など主治医、看護師とも相談しながら支援しています。水分量、食事量、運動量などの検討もしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は曜日を決めていますが、その日の状況に応じた変更などで、臨機応変な対応をしています。また、1番風呂が好きな方への対応や平等になる様な対応なども工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	傾眠の強い方やソファで寛ぎたい方などそれぞれの対応を工夫しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	夜勤者がセットし、各勤務者が確認し薬箱とご利用者台帳の両方に処方箋を入れ確認に努めています。また、急な薬の変更や追加にも申し送りや掲示、ノートなどで確認出来る体制を取っています。服薬チェック表も活用しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人の嗜好（お酒、特別な飲み物）などに対応しています。また、出来る範囲での役割（お花の水遣り、お掃除）などお願いし、生き生きと生活出来る様な支援に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族との外出支援や個別の買い物対応など行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の所持を行っている方はいますが、残金の確認などトラブルの無い様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	お手紙や電話は好きな時に出来る体制を取っています。昨年は、お中元の手配も行いました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今年はドリンクコーナーの配置、ソファの買い替え。玄関周りの整備も行い。少しずつ快適な空間作りに努めています。また、お部屋の温度や採光にも気を使う様に時間担当を決めています。玄関前の花壇に関してはご利用者様も関わりながら育てています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファの配置や椅子、テーブルの配置を工夫し。ご利用者様が快適に過ごせる様に工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	極力、今までの生活を崩さない様にお伝えし、出来る限りの荷物を持ち込んで頂く事をお願いしています。また、使い慣れたお茶碗、お箸などもお持ち頂く様にしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	共有空間と個室部分が別の配置ですが、その為。はっきりとした住み分けが出来ていると感じています。また、職員も目の届きやすい配置となっています。長い廊下には手摺の取り付けもあり。歩行不安定な方も居室までの移動が楽になる様な工夫があります。		

平成26年度

目標達成計画

事業所名 厚木荻野グループホーム

作成日： 平成 27年 1月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援	外部との関わりを持つ。	希望を確認しながら、近所のスーパーへの買い物、神社までの散歩、駐車場までの散歩と出来ることから始める。	6ヶ月
2	35	災害対策	地域と連携して避難訓練を行う。	運営推進会議で発信し、日程調整行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月